

- 問1 メディア・リテラシーが必要とされる背景やその目的について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- 高度な情報通信機器を使いこなし、プログラミングなどの技術を活用して新しいメディアを開発するため。
 - 情報の受け手が、発信者の意図を正しく理解し、提示された情報をそのまま効率的に受け入れるため。
 - インターネット上の膨大な情報の中から、自分にとって都合の良い情報だけを素早く選別し、拡散するため。
 - 発信される情報には特定の視点や編集が加わっていることを理解し、多角的な視点から情報の真偽や価値を判断するため。
- 問2 集団で物事を決定する際、無駄を省きながら納得のいく合意形成を図るために「効率」と並んで重視される「公正」の考え方として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- 特定の人たちの参加機会や利益が不当に制限されていないか、手続きが正しく行われているかを判断する考え方。
 - 時間や労力、お金などをなるべくかけずに、最大限の効果を得ようとする考え方。
 - 結果の良し悪しに関わらず、全員が全く同じ量ずつの利益や負担を分かち合うことを最優先する考え方。
 - 合意に至るまでの時間は問わず、参加者全員の意見が完全に一致するまで議論を継続しようとする考え方。
- 問3 社会生活における対立を解消し、合意を形成する際に重視される「公正」の視点について説明したものと、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- 合意に至るまでの手続きが適正であり、特定の人にとって不当な負担が偏っていないかを判断する考え方。
 - 意見が一致しない場合に、より多くの人が賛成する案を最終的な決定とする考え方。
 - 時間や労力、費用などをできるだけ少なくして、最大の成果が得られるかを判断する考え方。
 - 個人の自由を最優先し、集団のルールよりも個人の利益を最大限に確保しようとする考え方。
- 問4 SNSなどのソーシャルメディアにおいて、他人の氏名、住所、電話番号といった私生活に関する情報を本人の同意なく無断で公開する行為は、人権侵害にあたる可能性があります。この場合、侵害されていると考えられる権利として最も適切なものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- プライバシーの権利
 - 表現の自由
 - 信教の自由
 - 財産権
- 問5 情報公開法に基づき、国の行政文書の開示を請求する場合、その請求先として適切に規定されているものはどれか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- 行政機関の長
 - 民間企業の代表
 - 衆議院議長および参議院議長
 - 各都道府県知事
- 問6 地域の「ふれあいルーム」を開設するための話し合いにおいて、決定の内容が特定の人たちだけに有利にならないよう、さまざまな立場の人の要望を反映させ、みんなが利用しやすいように配慮する考え方を何といいますか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- 利潤追求の視点
 - 多数決の原理
 - 公正の視点
 - 効率の視点
- 問7 現代の情報社会において、コンピュータやネットワークを介して情報をやり取りする「情報通信技術」のことを、アルファベット3文字の略称で何と呼びますか。また、大量の情報の中から必要なものを取捨選択し、その情報の真偽を正しく判断して活用する能力を何といいますか。その名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- ICT, デジタル・デバイド
 - ICT, 情報リテラシー
 - SNS, 情報リテラシー
 - AI, 知的財産権
- 問8 近年、京都市などの観光地では、道路や広場に「座りこまないでください」「列に並んでください」といった内容を英語の「Do Not Sit Here」「Please Line Up」と併記し、イラストを用いた案内表示を設置しています。このような取り組みを行う主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- 地域の特産品の魅力を多言語で発信することで、観光客による購買意欲を高めて地域経済を活性化させるため
 - 観光客に現地のマナーを周知することで、地域住民の生活環境を守り、誰もが快適に過ごせるようにするため
 - バスや鉄道などの公共交通機関を利用する際に必要となる、区間ごとの利用料金を分かりやすく示すため
 - 観光地にある歴史的な建造物などのような構造で造られているかを、外国人観光客に詳しく解説するため
- 問9 世界の国々が効率的に商品を生産し、輸出入を行うことで貿易が拡大している状況について、その背景にある「国際分業」の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- 先進国がすべての製品を生産し、発展途上国がそれを一方的に輸入することで世界経済を安定させるため。
 - 各国が他国からの輸入に頼らず、自国内だけで必要なすべての物資を生産できるようにするため。
 - 特定の国が特定の製品の生産を独占することで、国際市場における価格競争を避けるため。
 - 自国の得意な分野に資源や技術を集中させて生産効率を高め、互いに不足するものを補い合うため。
- 問10 1980年代以降に急速に進んだグローバル化の背景と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- 第一次産業である農業や漁業が経済の主役となり、工業製品の輸出入が世界的に停止した。
 - 企業の規制緩和が進んだことで、資本や人々が国境を越えて自由に移動し、経済活動が地球規模に広がった。
 - 情報技術の発展が制限されたため、他国の文化や経済情報が伝わらなくなり、鎖国に近い状態が生まれた。
 - 国家による経済統制が強まったことで、自国内での生産と消費が完結するようになり、国際貿易が縮小した。
- 問11 インターネットなどを通じて膨大な情報を得られる現代社会において、情報の送り手と受け手の双方が、必要な情報を適切に選択し、その内容が正しいかどうかを判断して活用する力を何といいますか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- ICT (情報通信技術)
 - プライバシーの権利
 - 情報リテラシー
 - グローバル化
- 問12 近代社会における「法の支配」と「民主政治」の関係について、次の文中の空欄 () に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。「法の支配の原則を維持するためには、権力の濫用を防ぐ仕組みが必要である。イギリスでは権利章典によって () の同意なしに王権が法を停止することを禁じたが、これは現代の日本においても、国会が唯一の立法機関として法を定め、行政や司法がそれに従う仕組みの基礎となっている。」 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- 内閣
 - 主権者
 - 議会
 - 裁判所

答え合わせ・解説

問1	答え 4 発信される情報には特定の視点や編集が加わっていることを理解し、多角的な視点から情報の真偽や価値を判断するため。	メディアから発信される情報は、事実をありのままに伝えるだけでなく、必ず作成者の選択や構成という過程を経て届けられます。そのため、受け手は「情報には作り手の意図が含まれている可能性がある」という前提に立ち、自分なりに判断して活用することが求められます。これは、民主主義社会において主権者が正しい判断を行うための基礎となる重要な能力です。
問2	答え 1 特定の人たちの参加機会や利益が不当に制限されていないか、手続きが正しく行われているかを判断する考え方。	民主政治における合意形成では、資源の無駄を省く「効率」と、手続きや内容の正しさを問う「公正」の二つの視点が不可欠です。「公正」は、決定のプロセスにおいて特定の人たちが不当に制限を受けたり、排除されたりしていないかを確認する重要な指針となります。
問3	答え 1 合意に至るまでの手続きが適正であり、特定の人に不当な負担が偏っていないかを判断する考え方。	社会的な合意形成においては、「効率」と「公正」の両立が求められます。公正の視点には、決定に至るまでの過程において全員に発言の機会が与えられたかという「手続きの公正」と、得られた結果によって特定の人に不当な負担が押し付けられていないかという「結果の公正」の二つの側面があります。
問4	答え 1 プライバシーの権利	プライバシーの権利は、個人の私生活に関する情報をみだりに公開されない権利として確立されました。情報化社会においては、単に「放っておいてもらう権利」だけでなく、「自分の情報を自分でコントロールする権利」という側面も重要視されています。SNSへの無断投稿は、発信者側にとっては表現の自由の行使であっても、他人の私生活を脅かす場合はプライバシーの権利の侵害となります。
問5	答え 1 行政機関の長	情報公開法では、開示請求の対象を「行政機関の保有する情報」としており、その請求先は各省庁などの「行政機関の長」と定められています。民間企業の代表は、公権力を持つ行政機関ではないため、この法律に基づく開示義務の対象とはなりません。また、地方自治体の情報については、各自治体が定める情報公開条例に基づき、知事や市町村長に対して請求を行うこととなります。
問6	答え 3 公正の視点	社会的なルールや方針を決定する際、手続きが正しく行われているか、あるいは結果が不当な差別や格差を生んでいないかを重視する考え方です。多様な意見を尊重し、誰もが納得できる解決策を目指すために不可欠な視点です。対照的な概念として、時間や費用、労力の無駄を省いて成果を最大化しようとする「効率」の視点があります。
問7	答え 2 ICT, 情報リテラシー	情報通信技術は英語のInformation and Communication Technologyの頭文字をとってICTと呼ばれます。インターネットの普及により、私たちは膨大な情報を瞬時に入手・発信できるようになりましたが、その中には誤った情報や偏った見解も含まれています。そのため、情報をうのみにせず、その信憑性を確認して正しく活用するための知識や技能である「情報リテラシー」を身につけることが、現代社会を生きる上で極めて重要になっています。
問8	答え 2 観光客に現地のマナーを周知することで、地域住民の生活環境を守り、誰もが快適に過ごせるようにするため	観光地には異なる文化や習慣を持つ多様な人々が訪れるため、意図せず現地のルールに反する行動をとってしまうことがあります。文字だけでなくイラストや多言語を用いた案内表示を行うことで、直感的に守るべきマナーを伝え、観光客と地域住民との摩擦を防ぐ役割があります。
問9	答え 4 自国の得意な分野に資源や技術を集中させて生産効率を高め、互いに不足するものを補い合うため。	国際分業は、各国がそれぞれの強みを活かして商品を生産し、それを貿易によってやり取りすることで、一国では実現できない効率的な経済活動を可能にします。これにより、世界全体の生産量が増大し、消費者はより多様で安価な製品を手にできるようになります。
問10	答え 2 企業の規制緩和が進んだことで、資本や人々が国境を越えて自由に移動し、経済活動が地球規模に広がった。	グローバル化の大きな要因は、1980年代以降に各国で進められた「規制緩和」です。これにより、民間企業が自由に海外へ投資したり進出したりすることが可能となり、物・金・人・情報が国境を越えて瞬時に移動する現代の経済構造が作られました。
問11	答え 3 情報リテラシー	情報化が進んだ現代では、あふれる情報の中から自分に必要なものを選び出し、その真偽を確かめて正しく使いこなす能力が不可欠です。このような、情報の受信や発信において情報を主体的に読み解き、活用する力を「情報リテラシー」と呼びます。
問12	答え 3 議会	法の支配を具体化する歴史的な過程において、イギリスでは「議会」が国王の権力を制限する中心的な役割を担いました。権利章典では、国王が独断で法律の効力を停止することを「議会の同意がない限り違法」と定めています。これは、国民の代表が集まる場（議会・国会）が作ったルールこそが、あらゆる権力を拘束するという近代立憲主義の基本的な構造を示しています。